

2018年3月期決算説明会

2018年5月29日

 黒崎播磨株式会社

(証券コード:5352)

 100

100年の技術を未来へ

1. 2018年3月期決算の概要

2. 2017年中期経営計画レビュー

3. 2020年中期経営計画の概要

<参考> 当社の概要



1. 2018年3月期決算の概要

事業環境

- ◆ 国内粗鋼生産 : 2017年度は前年度比0.3%減の1億484万トン。
2018年1~3月は前年同期比0.6%増の2,639万トンと2四半期連続で増加。
- ◆ 世界粗鋼生産 : 2017年は前年比5.3%増の16億9,122万トンと過去最高。
中国・インド・欧州・北米のいずれも増産傾向。

トピックス

- ◆ 耐火物 : 建設用耐火物および海外事業の伸展等により売上高増加。
ただし耐火物原料(マグネシア等)価格の高騰が継続。原料費アップを国内事業の売上高増・価格改定・コストダウンではカバーしきれなかったものの、海外子会社の業績向上により増益。
- ◆ ファーネス : 大型工事の継続受注により売上高・利益ともに増加。
- ◆ セラミックス : 旺盛な半導体需要を背景に、半導体製造装置向けを中心に売上高が増加し、利益も大幅に増加。

決算概況

- ◆ 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益、いずれも**過去最高**を達成。
年間配当金も**過去最高**。

2018年3月期決算の概要(連結)

単位:億円

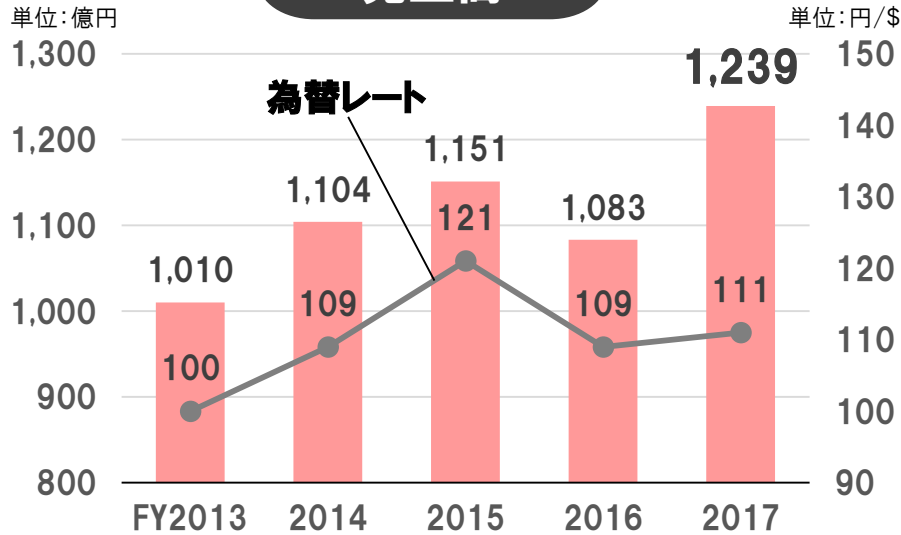
	17年3月期	18年3月期	対前年比	
売上高	1,083.7	1,239.7	+ 156.0	+ 14.4%
営業利益	76.7	84.9	+ 8.1	+ 10.7%
経常利益	78.4	89.9	+ 11.4	+ 14.6%
当期純利益 ^{*1}	44.2	56.5	+ 12.3	+ 27.8%
R O S ^{*2}	7.2%	7.3%	+ 0.1pt	—
R O E	10.1%	11.3%	+ 1.2pt	—
年間配当 ^{*3}	130円/株	170円/株	—	—

*1:親会社株主に帰属する当期純利益 *2:売上高経常利益率

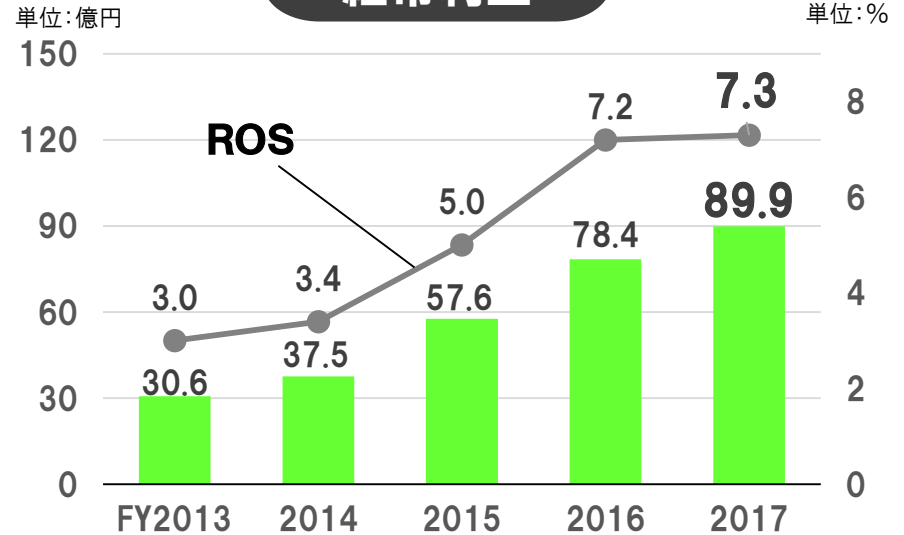
*3:2017年10月1日に10株を1株とする株式併合を実施したため、2017年度上期までの配当額は10倍に換算して表示しています。

主要指標推移(連結)

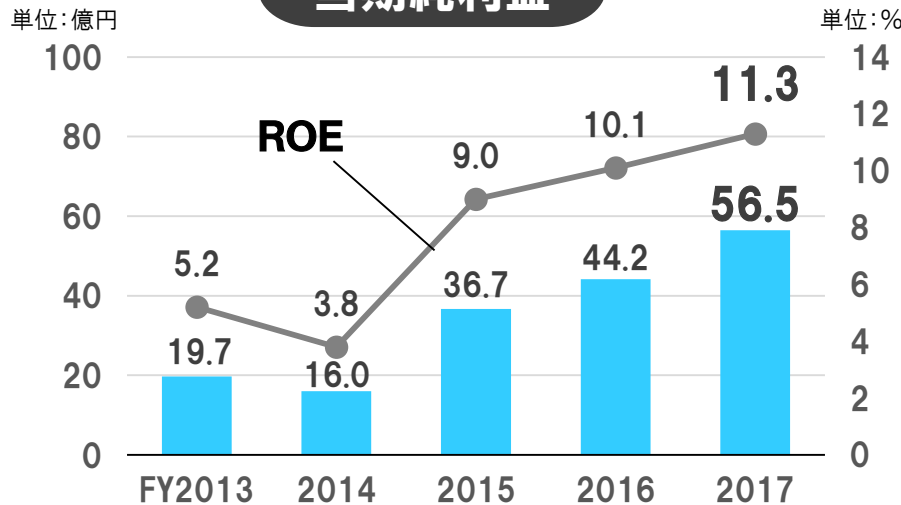
売上高



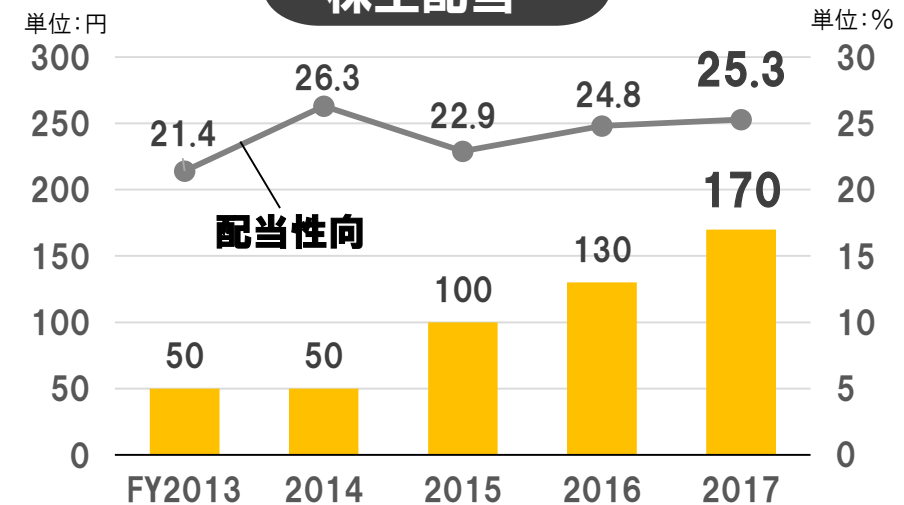
経常利益



当期純利益



株主配当*



*: 2017年10月1日に10株を1株とする株式併合を実施したため、2017年度上期までの配当額は10倍に換算して表示しています。

財務状況(連結)

<貸借対照表の状況>

単位:億円

	17年3月末	18年3月末	対前年度末比	
資産	1,167.0	1,319.2	+ 152.2	+ 13.0%
流動資産	715.1	855.9	+ 140.8	+ 19.7%
固定資産	326.6	323.3	▲ 3.3	▲ 1.0%
投資その他資産	125.1	139.9	+ 14.8	+ 11.8%
負債	659.2	741.7	+ 82.4	+ 12.5%
純資産	507.7	577.5	+ 69.8	+ 13.7%

有利子負債残高	332.2	352.3	+ 20.0	+ 6.0%
D / E レシオ	0.72	0.66	▲ 0.06	-
自己資本比率	39.8%	40.4%	+ 0.6pt	-

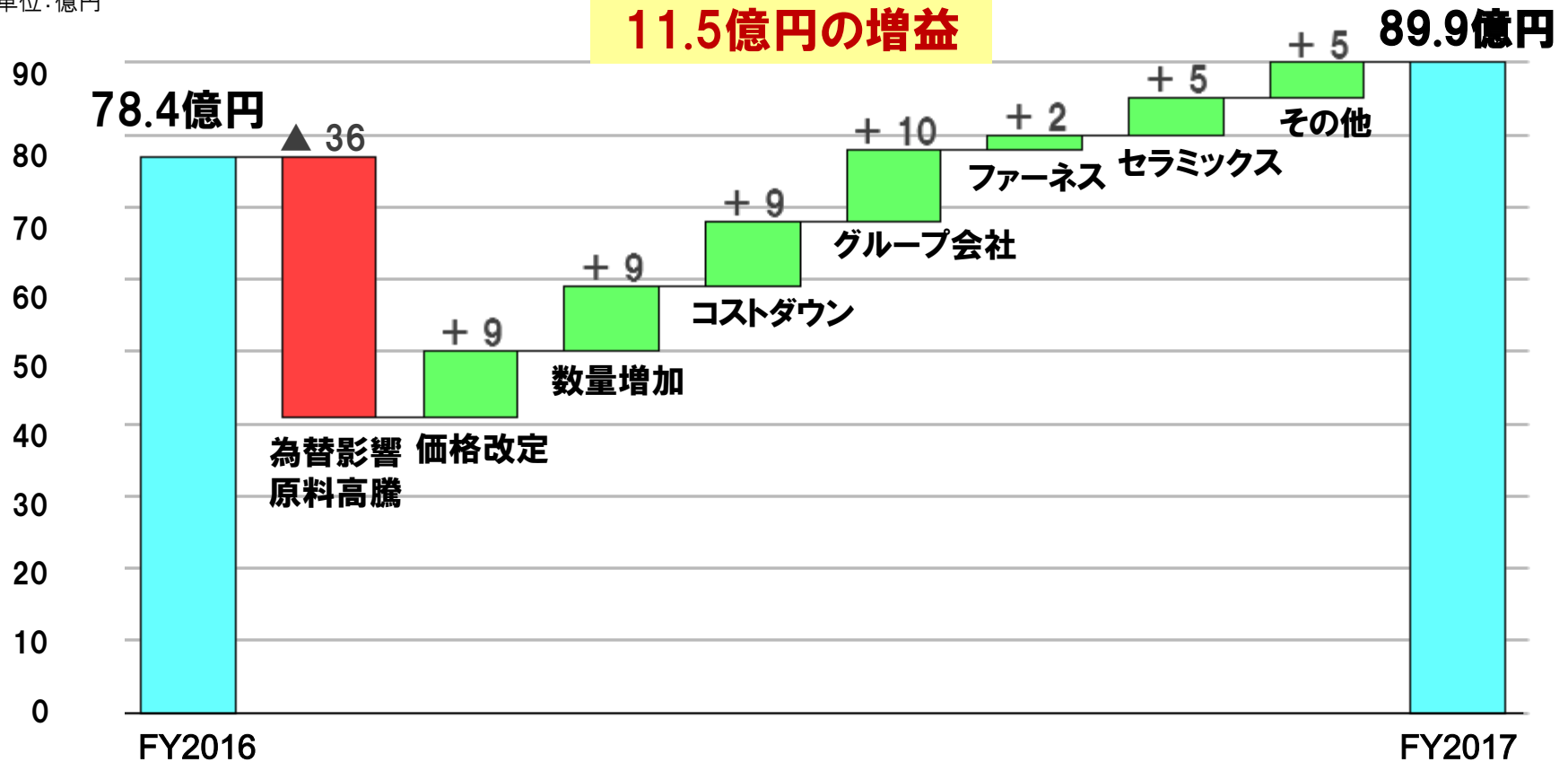
<キャッシュフローの状況>

	17年3月末	18年3月末	当期の主な内容
営業キャッシュフロー	▲ 27.9	26.8	税前当期純利益 +87.3、減価償却費 +26.8 運転資金 ▲71.2、法人税等の支払い ▲30.1
投資キャッシュフロー	▲ 21.8	▲ 23.6	固定資産の取得 ▲29.8
フリーキャッシュフロー	▲ 49.7	3.1	
財務キャッシュフロー	49.5	7.4	借入金等の増加 +21.2 配当金の支払い ▲10.9

原料高騰の影響は大きかったが、海外グループ会社の業績向上、ファーンレス事業・セラミックス事業の好調により増益となった。

単位: 億円

11.5億円の増益



セグメント別業績(連結)

単位: 億円

		17年3月期	18年3月期	対前年比	
耐火物	売上高	859.1	990.3	+ 131.1	+ 15.3%
	セグメント利益	51.5	52.3	+ 0.8	+ 1.6%
ファーンレス	売上高	148.3	158.1	+ 9.8	+ 6.6%
	セグメント利益	11.0	12.8	+ 1.8	+ 16.6%
セラミックス	売上高	58.4	74.3	+ 15.8	+ 27.2%
	セグメント利益	6.5	11.4	+ 4.9	+ 76.1%
不動産他	売上高	17.7	16.9	▲ 0.7	▲ 4.4%
	セグメント利益	7.6	8.2	+ 0.5	+ 7.4%
合計	売上高	1,083.7	1,239.7	+ 156.0	+ 14.4%
	セグメント利益	76.7	84.9	+ 8.1	+ 10.7%

※各セグメントの売上高は外部顧客への売上高であり、セグメント間の内部売上高又は振替高は含まれていません。また、セグメント利益は営業利益ベースです。

業績

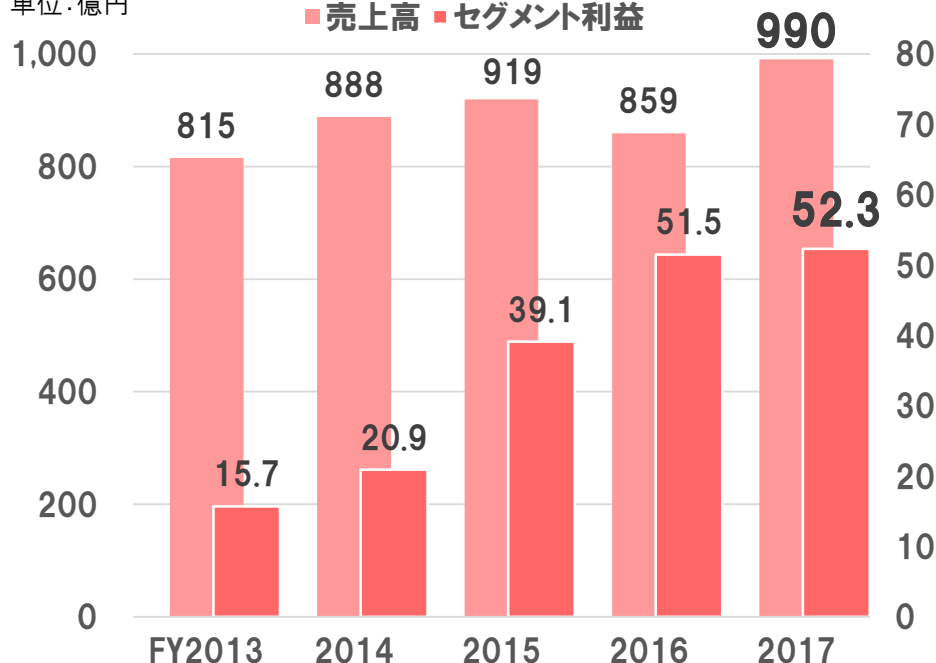
単位:億円

	17年3月期	18年3月期	対前年比	
売上高	859.1	990.3	+131.1	+15.3%
セグメント利益	51.5	52.3	+0.8	+1.6%

推移

単位:億円

■売上高 ■セグメント利益



業績ハイライト

- 建設用耐火物の受注増および海外子会社の拡販等により大幅増収。
- 原料高騰に対して、売上高増、コストダウン、国内外での販売価格改定を推進したが、当該影響をカバーしきれず単体減益。
しかし、海外子会社の業績向上により、連結では増益。
- 原料高騰に対しては、期中の上昇分を次期の販売価格に反映。

業績

単位: 億円

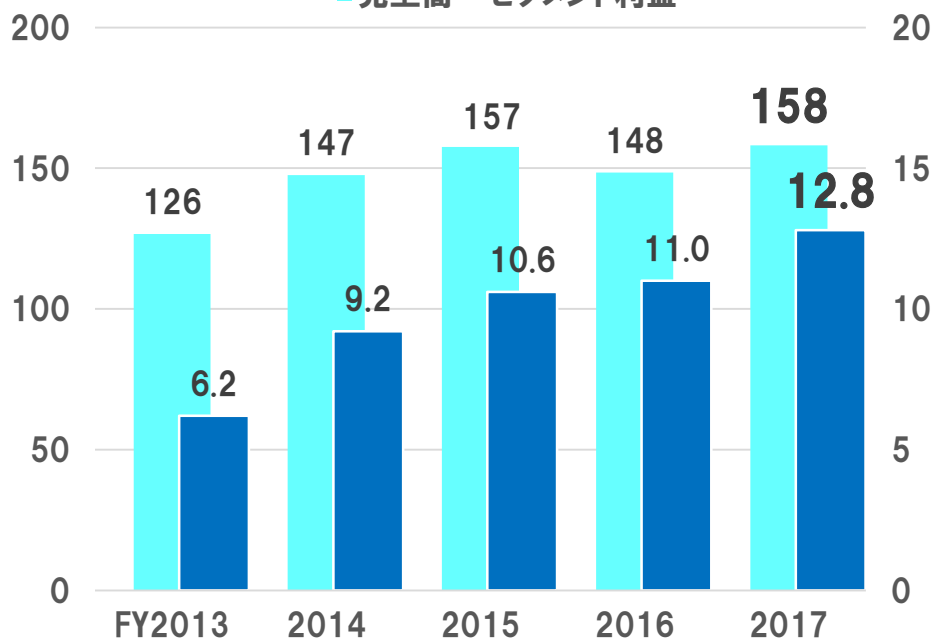
17年3月期 18年3月期 対前年比

	17年3月期	18年3月期	対前年比	
売上高	148.3	158.1	+9.8	+6.6%
セグメント利益	11.0	12.8	+1.8	+16.6%

推移

単位: 億円

■ 売上高 ■ セグメント利益



業績ハイライト

- コークス炉・熱風炉等の大型築造工事の継続受注により増収増益。
- 海外顧客の加熱炉省エネ工事を完遂。
- 発電ボイラー等の環境案件の継続受注。
- 旺盛な大型築造工事需要に対応すべく、人材採用・育成と新規工法開発等を推進。

業績

単位：億円

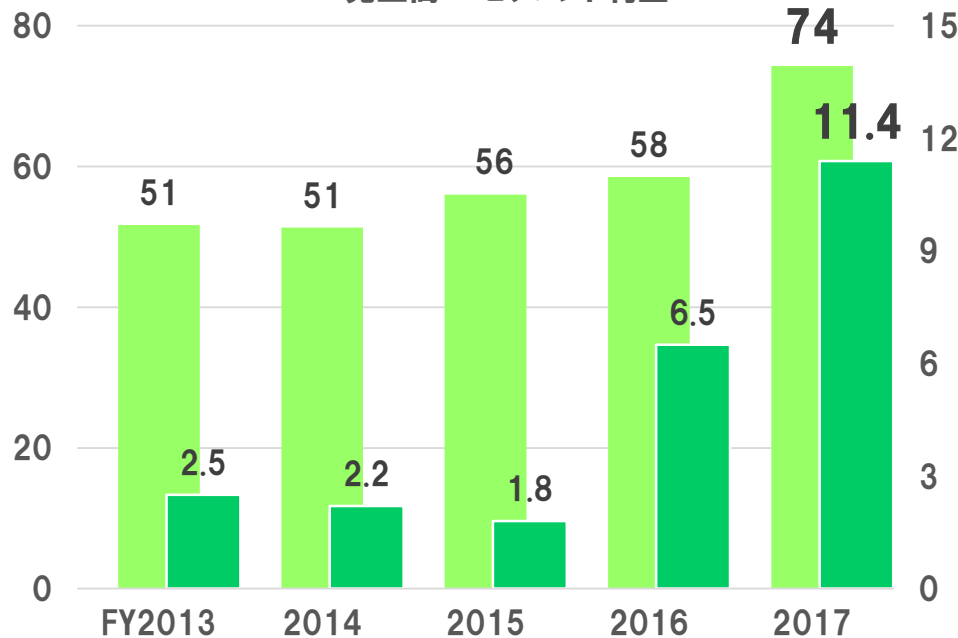
17年3月期 18年3月期 対前年比

	17年3月期	18年3月期	対前年比	対前年比
売上高	58.4	74.3	+15.8	+27.2%
セグメント利益	6.5	11.4	+4.9	+76.1%

推移

単位：億円

■売上高 ■セグメント利益

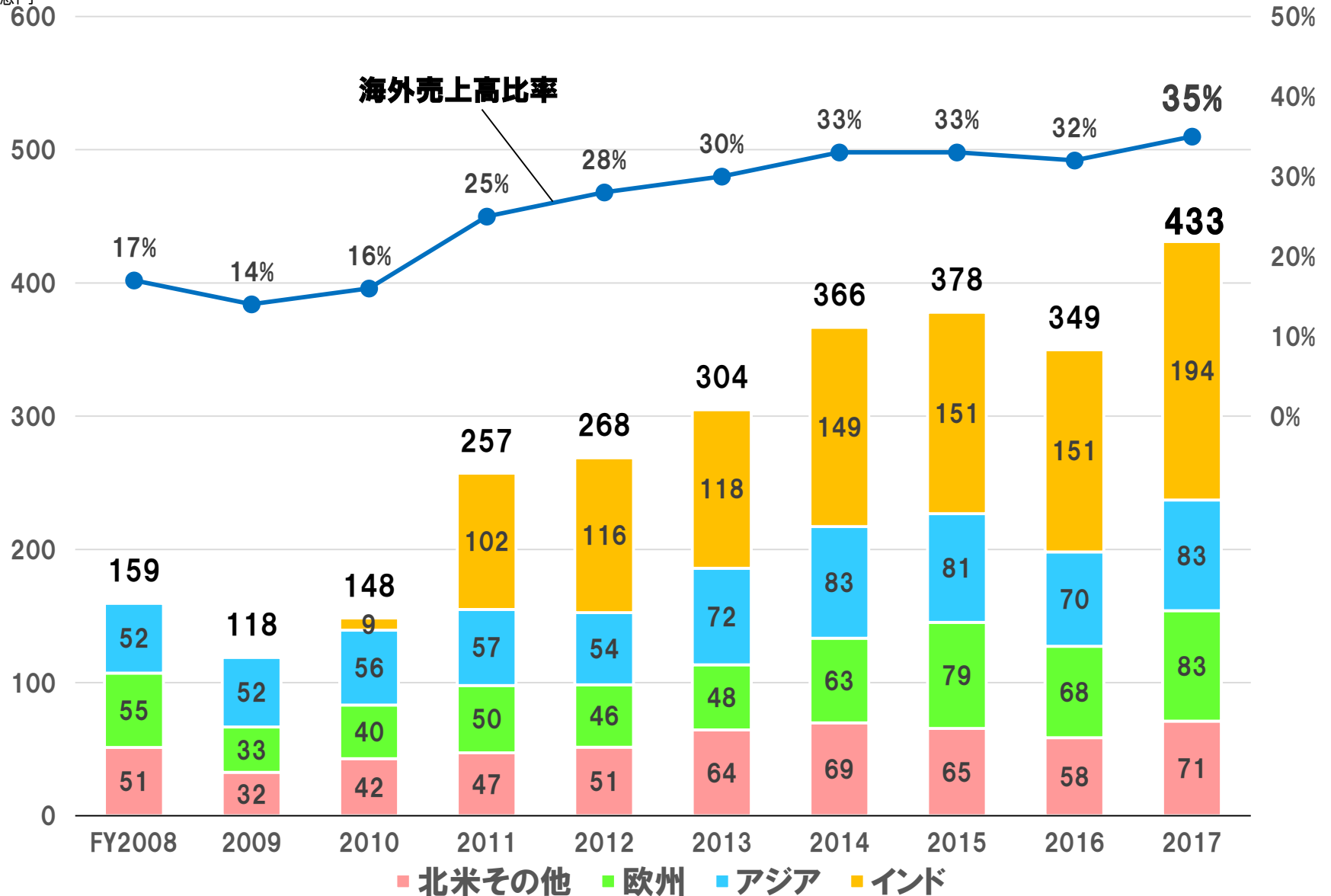


業績ハイライト

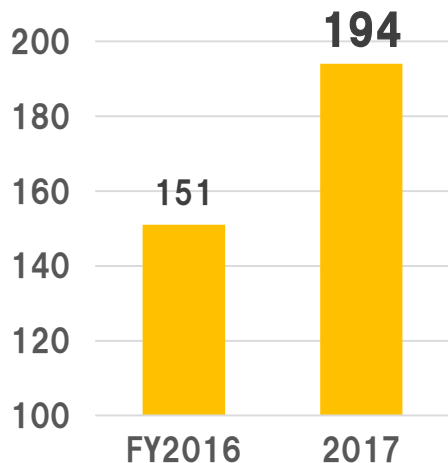
- 増収増益。過去最高のセグメント利益を達成。
- 国内外半導体メーカーの設備投資活発化を背景に、半導体製造装置向けファインセラミックスの売上高が大幅に増加。
- セラミックコンデンサの需要増加により、電子部品焼成用部材の売上高が増加。
- 燃料電池・リチウムイオン電池向け断熱材の売上高が増加。

海外連結売上高推移(日本円ベース)

単位: 億円

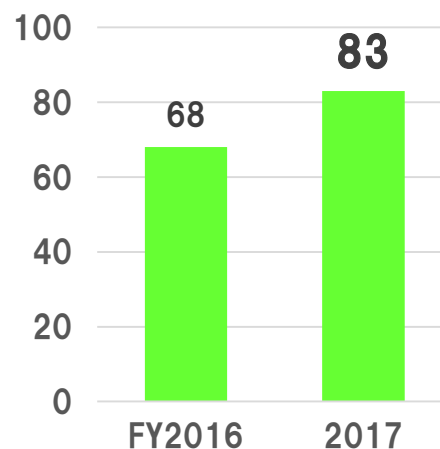


インド



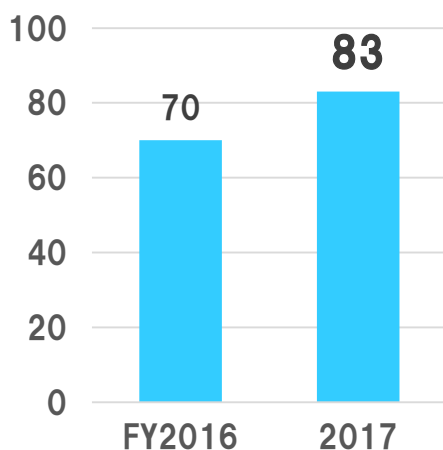
- 粗鋼生産量は順調に伸びており、耐火物需要拡大が継続。
- 原料高騰の销售价格転嫁が順調に進展。
- 高炉用充填材の拡販。
- インド子会社TRLは最高益を達成。

欧州



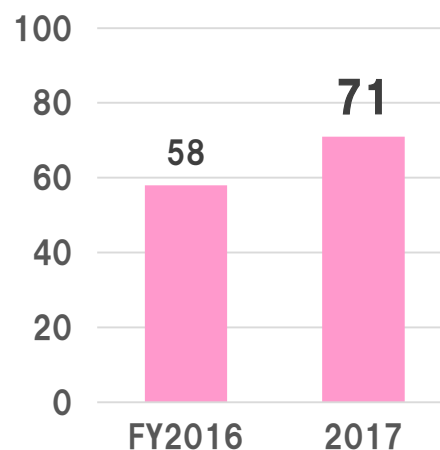
- 粗鋼生産量は横ばいだが、グループの転炉用れんがの販売量は増加。
- 原料高騰の销售价格転嫁が順調に進展。
- スペイン子会社AMRとオランダ子会社KEBは最高益を達成。

アジア



- 台湾: 転炉用れんがの値上げおよびステンレス炉向け吹付材の受注増加。
- 中近東: 価格競争を回避し、販売抑制。

北米その他



- 粗鋼生産量の増加に伴う耐火物需要の増加。
- SN装置とSN耐火物のセット販売による売上高の増加。

※ SNとは、溶鋼の流量制御に使用される装置や耐火物を指します(スライディングノズルの略称)。

国内・海外ともに堅調な粗鋼生産に対応するとともに、高付加価値製品の拡販を推進し、増収を見込む。
 利益面では、耐火物原料・エネルギーコストの更なる上昇が予想されるものの、売上高の増加により若干の増益を見込む。

単位：億円

	18年3月期	19年3月期	対前年比	
			増減額	増減率
売上高	1,239.7	1,340.0	+ 100.2	+ 8.1%
経常利益	89.9	95.0	+ 5.0	+ 5.7%
R O S	7.3%	7.1%	▲0.2pt	—

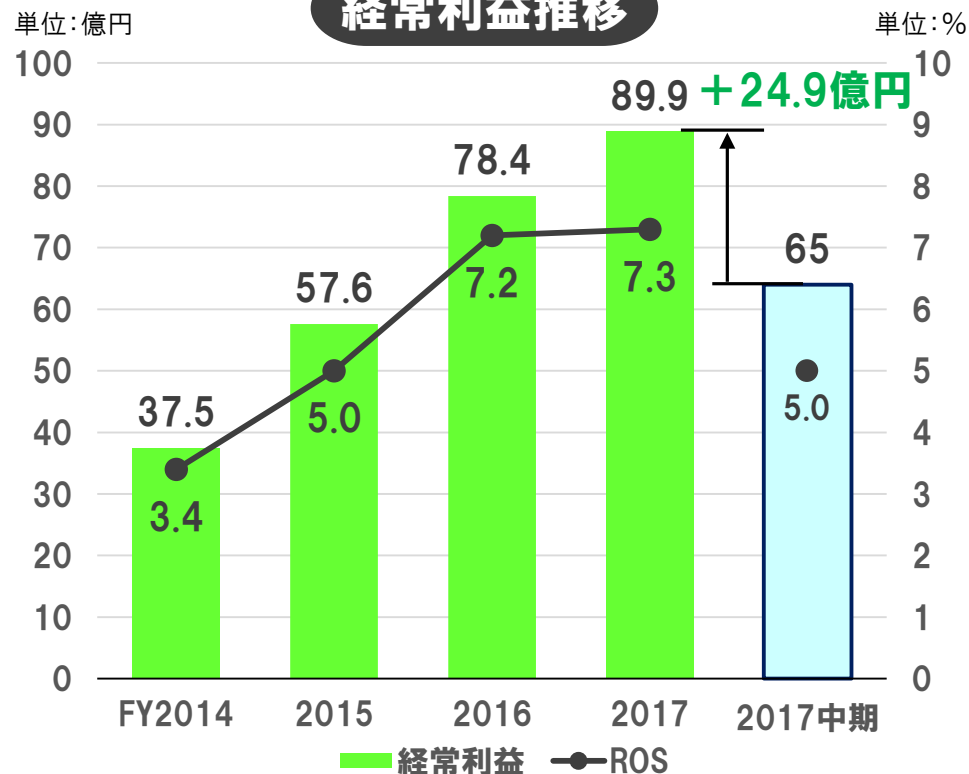


2. 2017年中期経営計画レビュー

売上高推移



経常利益推移



売上高: 国内は、建設用耐火物の受注増はあったものの、粗鋼生産が計画前提を下回り、作業用耐火物の売上高減少により若干計画未達。

海外は、グループ会社売上高が過去最高を達成したものの、選別受注の促進等により計画未達。

利益: 海外グループ会社の躍進、およびファーンネス事業・セラミックス事業の好調により、経常利益・ROSともに計画を超過達成。

<目標>

**国内外での耐火物
拡販・整備事業拡大**



- ・国内:旧住金への拡販、シェア拡大
- ・海外:インドでの拡大需要の確実な捕捉、高付加価値製品の拡販、およびスペイン子会社での能力増強
- ・整備事業:コークス炉における作業領域拡大

**耐火物事業での
抜本的収益力強化**



- ・不採算製品の受注回避
- ・スペイン子会社での自動化設備導入による生産効率化、インド子会社での高付加価値製品投入による収益性改善

**ファーネス、セラミックス
セグメントでの収益拡大**



- ・ファーネス:環境炉(焼却炉等)の順調な受注
- ・セラミックス:旺盛な半導体・コンデンサ需要の高まりに的確に対応し、収益拡大



3. 2020年中期経営計画の概要

経済環境

- ・為替レート前提: 1 \$ = 100円
- ・原料市況は上昇基調が継続。

国内粗鋼

- ・国内粗鋼生産量は現状レベル。
- ・コークス炉を中心に建設用耐火物需要は堅調。

海外粗鋼

- ・インドをはじめとする新興国の粗鋼生産量は拡大傾向が継続。
- ・欧米の粗鋼生産量は現状並み。

ファーンレス・セラミックス

- ・ファーンレス事業: 製鉄所の大型築造工事需要が継続。
- ・セラミックス事業: 半導体、コンデンサ需要の活況が継続。

基本方針

「世界第一級の鉄鋼用総合耐火物メーカー」の地位を確立

国内

- ・耐火物:大型建設用案件の着実な受注
- ・ファーンレス:耐火物整備事業における作業領域拡大、大型築造工事への対応
- ・セラミックス:電子産業分野の活況に対応し、事業拡大

設備投資

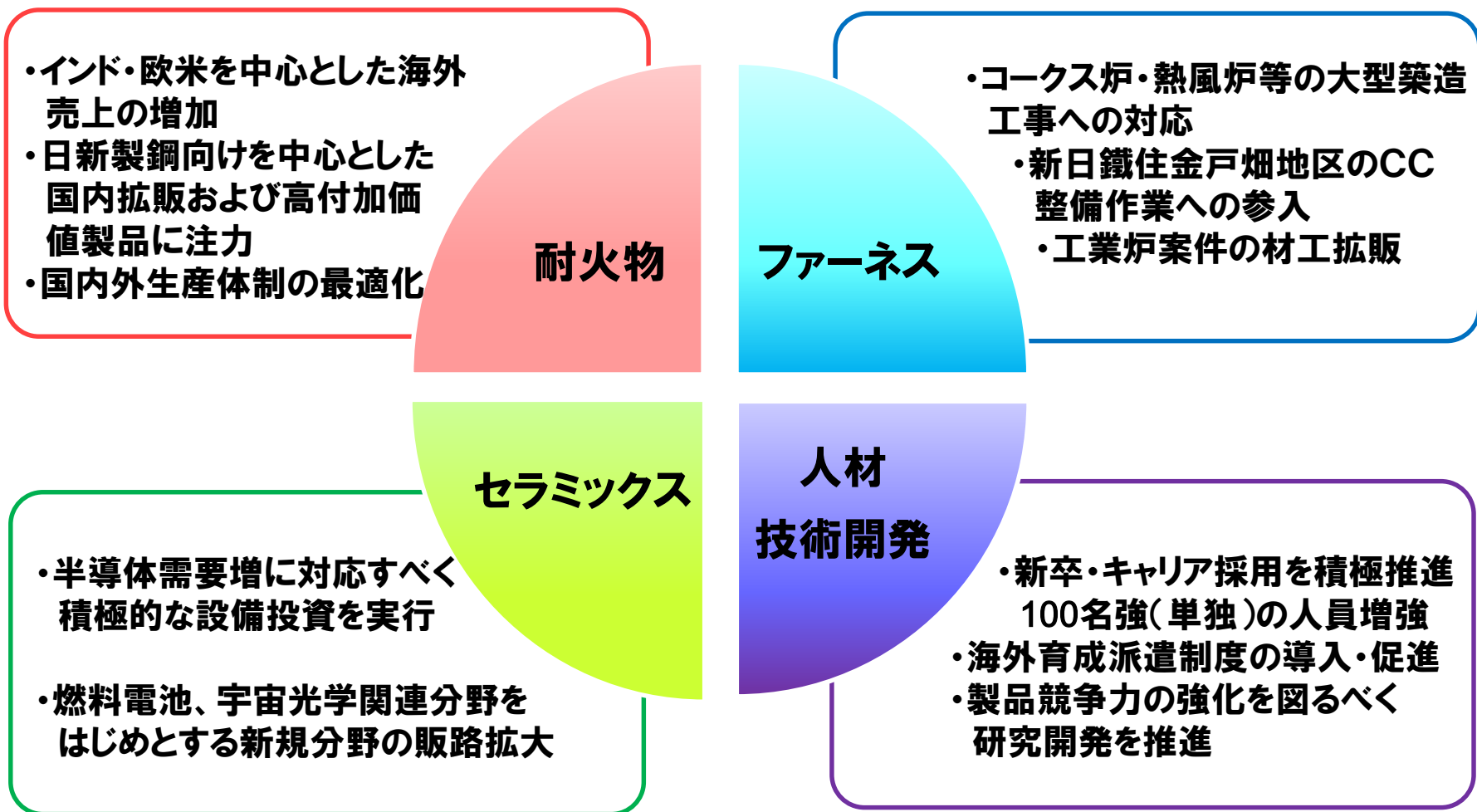
- ・過去最大規模となる、3ヵ年で160億円の設備投資
- ・国内:生産設備の近代化、セラミックス製品生産能力増強、事業基盤整備
- ・海外:中国生産拠点の再編・生産体制効率化、インドの高度経済成長に対応した積極的な設備投資

海外

- ・インドや東南アジアをはじめとする成長市場での拡販
- ・欧米の成熟市場におけるターゲット顧客のシェア拡大

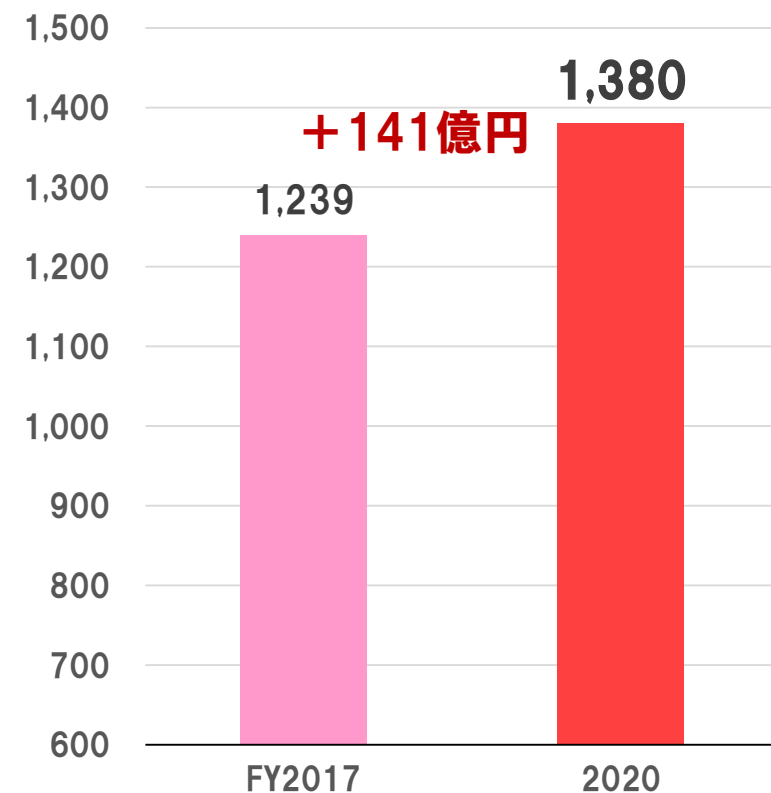
原料調達

- ・原料高騰に対応すべく、安価・安定調達体制の確立
- ・新規調達先の探索・確保



売上高 目標

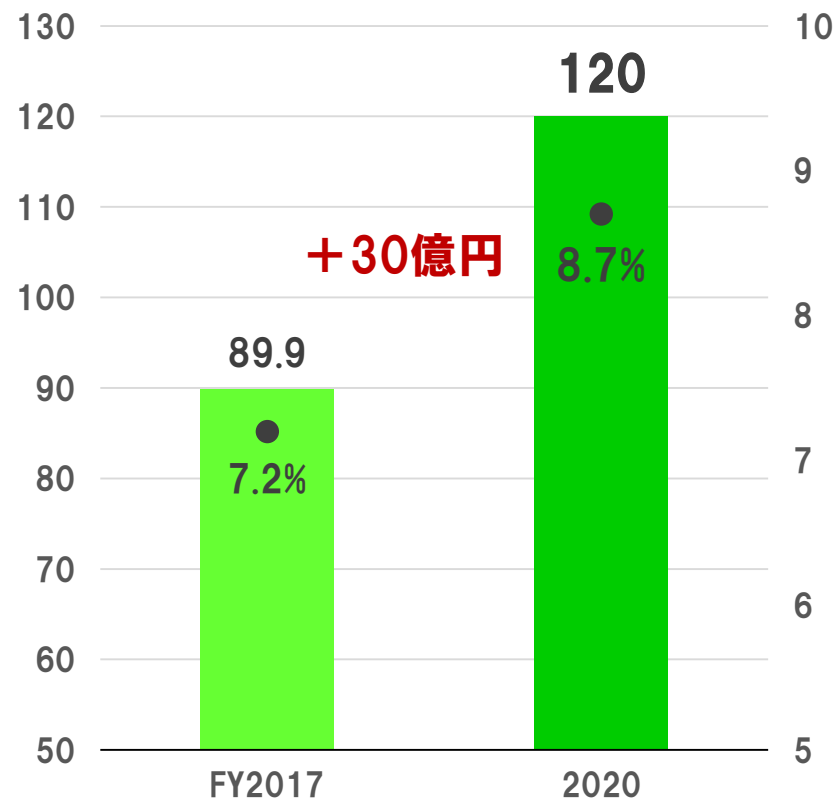
単位: 億円



経常利益・ROS 目標

単位: 億円

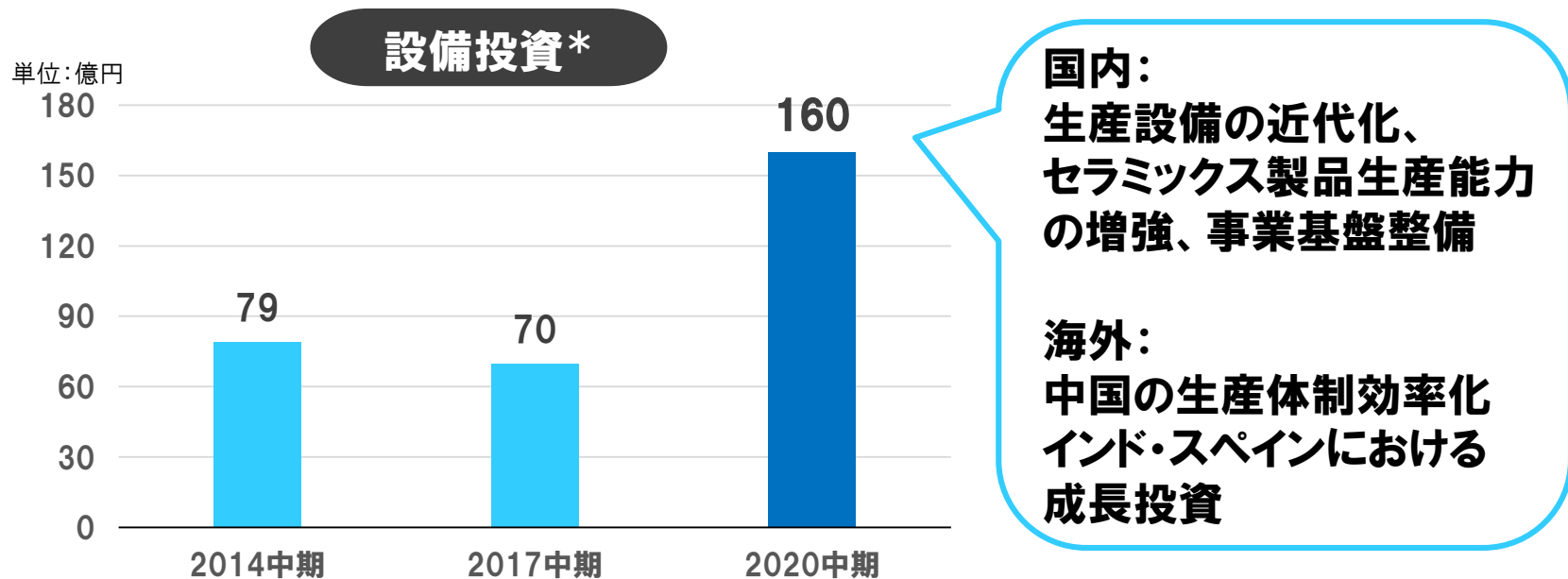
単位: %



■ 経常利益 ● ROS

創出した利益を、

- ①株主還元強化のため、配当性向を30%程度に引き上げ、
- ②国内外の生産能力増強および生産体制効率化をメインとする設備投資へ積極的に投入する。



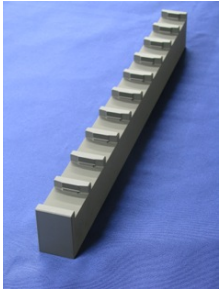
* 2014年中期および2017年中期の数値は取得ベースの実績値であり、2020年中期の数値は計画ベースの数値です。



【参考】当社の概要

商号	黒崎播磨株式会社
資本金	5,537百万円
設立	1918年10月14日
創業	1919年 6月 1日
主要事業	耐火物製造・販売
従業員	連結4,439名、単体1,329名
連結対象会社*	16社（国内5社、海外11社）

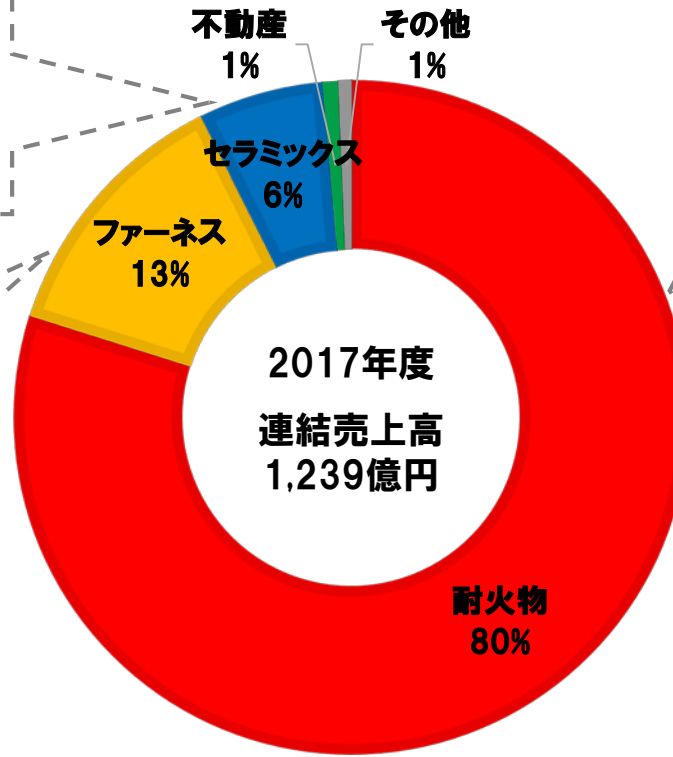
90%以上を耐火物関連事業(耐火物+ファーネス)が占める



精密測定機用基準器



電子部品焼成用部材



売上百分比

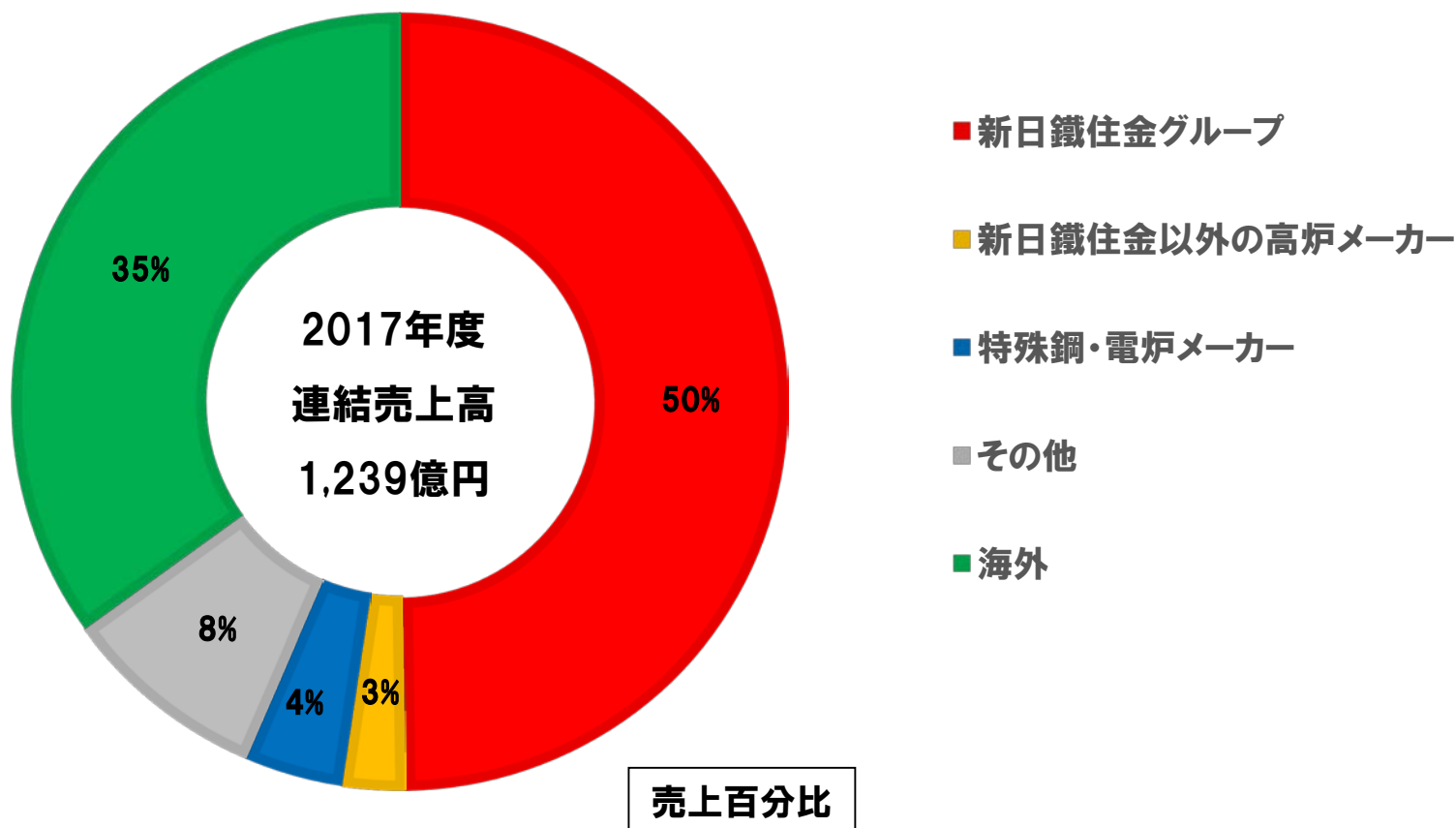


施工例)プッシャー式ビレット連続式圧延加熱炉

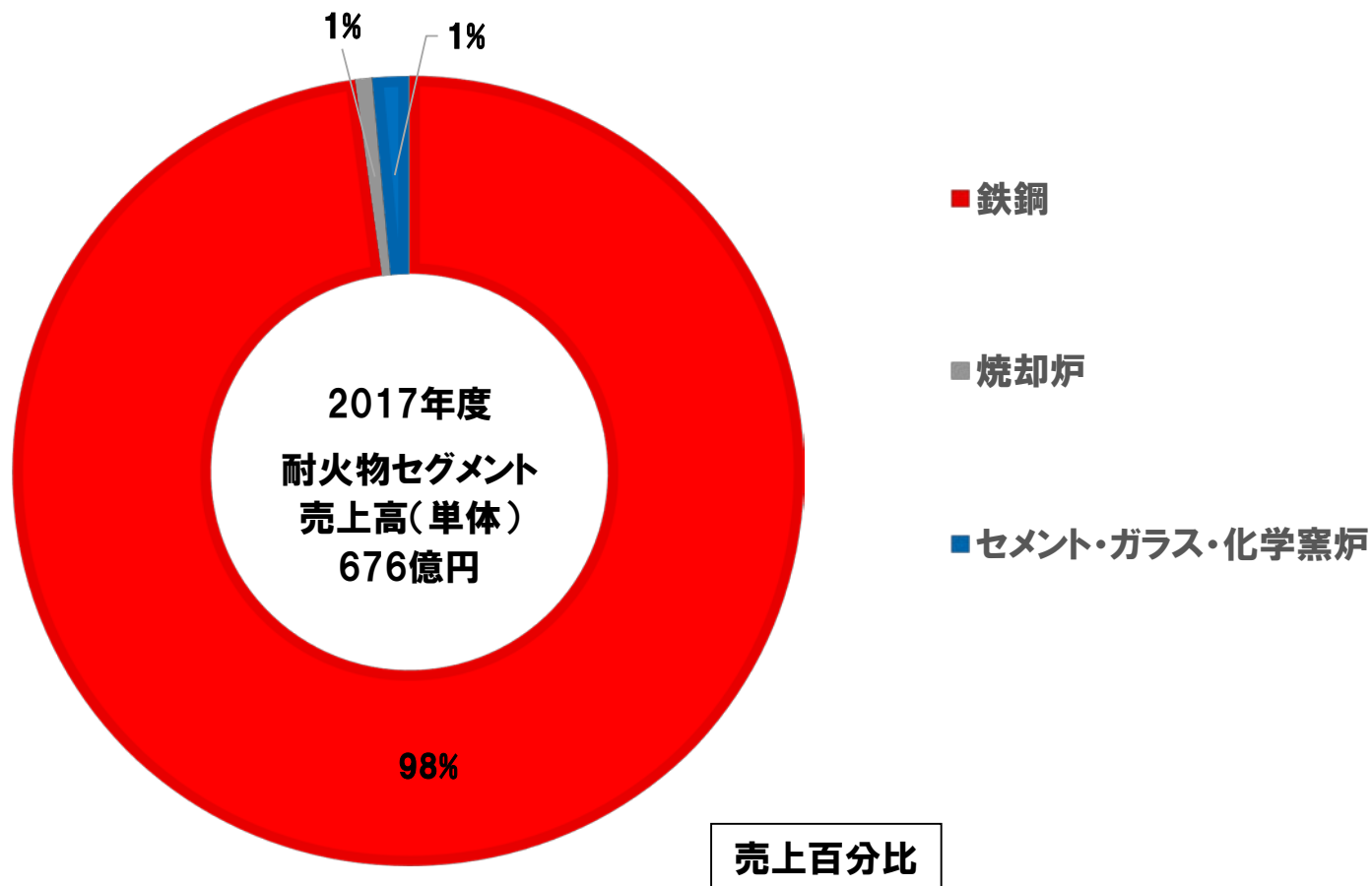


各種耐火物

納入先は国内外の鉄鋼メーカー



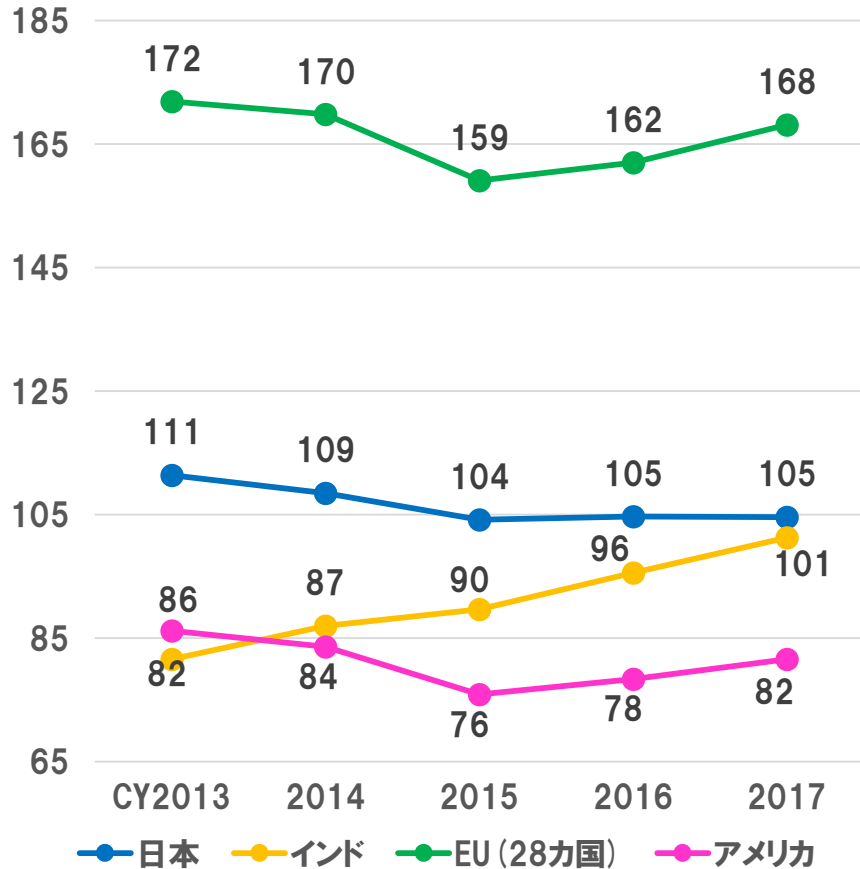
耐火物のうち98%を鉄鋼向けに販売



国内粗鋼生産は堅調、世界粗鋼生産は過去最高レベル

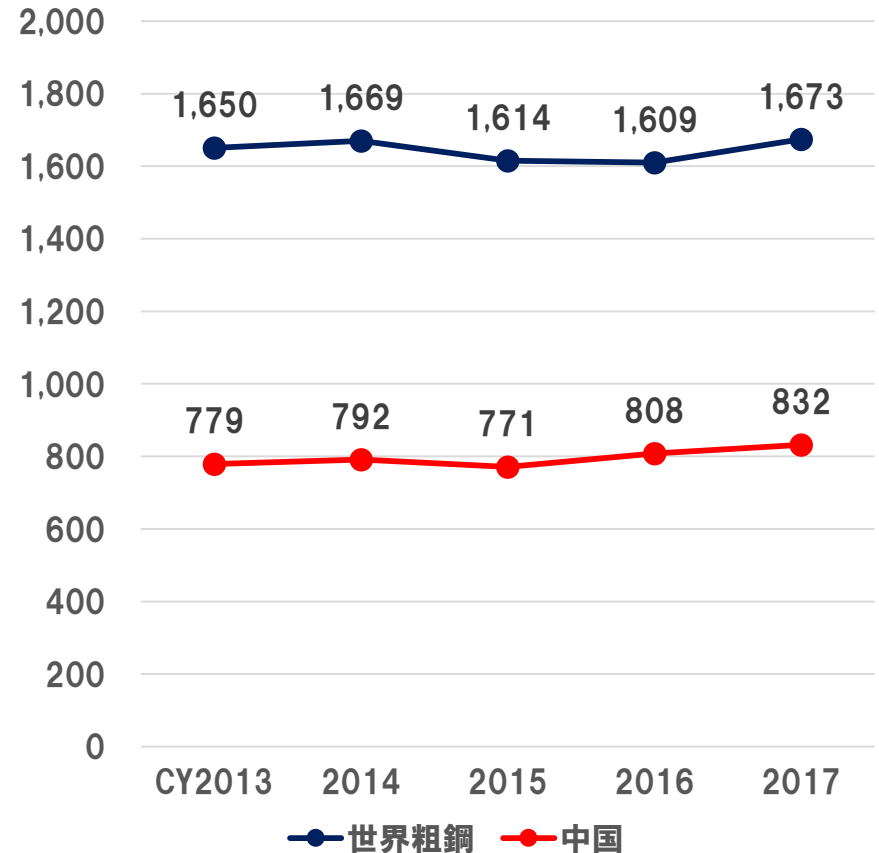
日本・インド・EU・アメリカの粗鋼生産

単位:百万トン



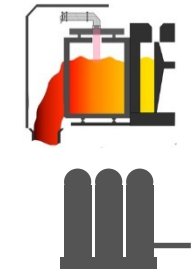
世界全体および中国の粗鋼生産

単位:百万トン



耐火物：製鉄に不可欠な基礎資材

<製鉄プロセス>



コークス炉
／熱風炉

耐火物の寿命
約40～50年



コークス炉用煉瓦



高炉

耐火物の寿命
約20年



高炉用
アルミナ煉瓦



混銑車

耐火物の寿命
約3～4ヶ月



混銑車用
アルミナ炭珪カーボン煉瓦

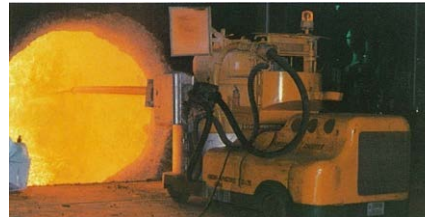


転炉用
マグネシアカーボン煉瓦



転炉

耐火物の寿命
約3～4ヶ月



転炉吹付用不定形耐火物
※写真は吹付けの様子



脱ガス炉用
ダイレクトボンド
マグクロ煉瓦



二次精錬炉

耐火物の寿命
《上部》約1年
《下部》約1ヶ月



攪拌プラグ



連続設備用
AGノズル



溶鋼鍋／連続鑄造設備

耐火物の寿命
数日または日々交換









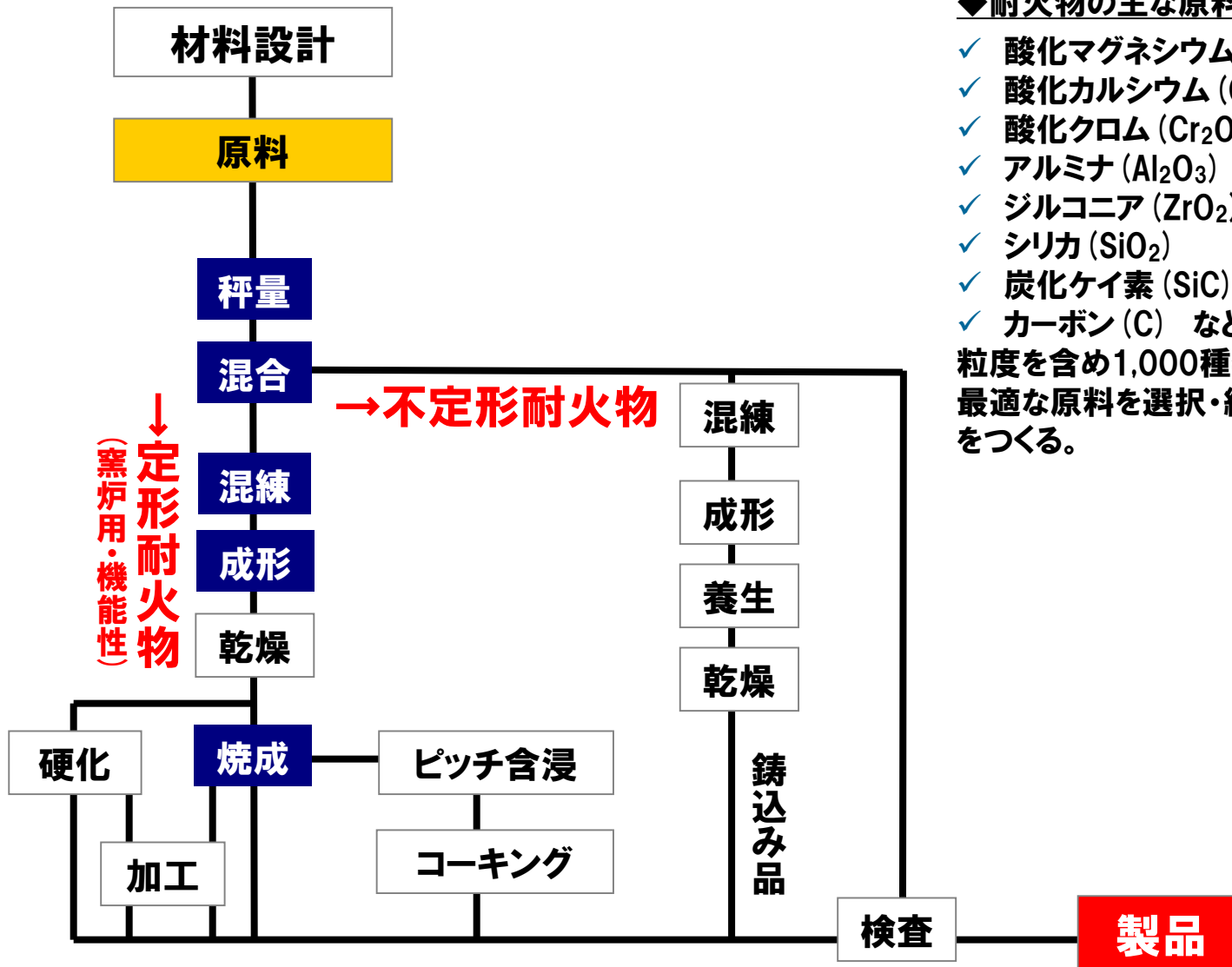
SNプレート駆動装置



連続設備用
SNプレート

主な耐火物製品の販売市場／生産拠点

耐火物の分類	窯炉用耐火物 	機能的耐火物			不定形耐火物	
		連続鑄造用AGノズル 	連続鑄造用SNノズル・プレート 	攪拌プラグ 	補修材／流し込み材 	マッド材 
適用される主な製鉄設備	高炉、熱風炉、コークス炉、混銑車、転炉、二次精錬炉	連続鑄造設備	連続鑄造設備	溶鋼鍋	高炉、転炉、溶鋼鍋	高炉
用途(機能)	設備の内張	溶鋼の整流	溶鋼の流量制御	溶鋼の攪拌	補修、設備の内張	高炉出銑口の閉塞
黒崎播磨グループの主な生産拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・中国 ・スペイン ・インド 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・中国 ・インド 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・中国 ・スペイン ・アメリカ ・インド 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・インド 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・中国 ・インド 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・中国 ・インド
黒崎播磨グループの主な市場	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・アジア ・欧州 ・北米 ・インド 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・アジア ・欧州 ・北米 ・豪州 ・インド 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・アジア ・欧州 ・北米 ・豪州 ・インド 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・欧州 ・北米 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・アジア ・北米 ・欧州 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 ・中国 ・北米 ・欧州 ・豪州 ・インド



◆耐火物の主な原料◆

- ✓ 酸化マグネシウム (MgO)
- ✓ 酸化カルシウム (CaO)
- ✓ 酸化クロム (Cr₂O₃)
- ✓ アルミナ (Al₂O₃)
- ✓ ジルコニア (ZrO₂)
- ✓ シリカ (SiO₂)
- ✓ 炭化ケイ素 (SiC)
- ✓ カーボン (C) など

粒度を含め1,000種類以上の原料から、最適な原料を選択・組み合わせてレシピをつくる。

省エネルギー、耐久性向上でお客様に貢献

●プッシャー炉

▶ ビーム連続加熱炉等



●ウォーキングビーム炉

▶ シームレス管再加熱炉等



●ウォーキングハース炉

▶ 特殊鋼ビレット連続加熱炉等



●耐火物築造工事

▶ 耐火物築造、解体、メンテナンス作業



(混銑車)



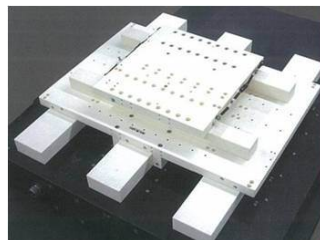
(コークス炉熱間積替)



お客様の絶え間ない「高性能化」に貢献

●精密部品用セラミックス

▶ 半導体製造装置、測定機器、光学機器分野



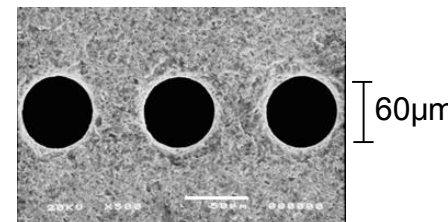
大型形状と精密加工やアッセンブリー技術の強みを活かした精密機械や半導体製造装置向けファインセラミックス。



ゼロ膨張セラミックスNEXCERATMの優れた寸法安定性、環境ロバスト性を活かし、原器や精密測定機器の更正器として適用開始。

●マシナブルセラミックス

▶ 電子部品製造、産業機械、半導体製造分野



金属加工と同様に加工できる易加工性セラミックス。ミクロンオーダーの微細加工を実現。写真は、小径穴加工(直径60µm)したマセライトHSPのプロブカード(ウエハーに形成されたICチップの検査治具)。

●スパッタリングターゲット材

▶ 電子部品、半導体デバイス分野



電子部品や半導体デバイスを熱や摩耗から守る薄膜を形成する高純度セラミックスのスパッタリングターゲット材。サーマルプリンターヘッド等に適用。

●電子部品焼成用部材

▶ 電子部品製造分野



主にセラミック電子部品の焼成工程に不可欠な部材。セラミックコンデンサ分野においては世界でシェアNo.1を誇る。

省エネルギー・環境分野で社会に貢献

●高機能断熱材

- 製鉄・非鉄、各種工業炉、航空機、自動車分野



断熱性能が静止空気より優れ、既存の断熱材より格段に優れる断熱特性を発揮して、省エネや薄肉化・小型化・軽量化による生産性向上に寄与。

●薄型面状ヒーター

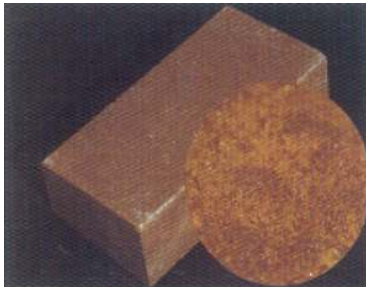
- 液晶・有機EL製造、半導体製造、高性能ヒーターユニット分野



薄い面状ヒーターで優れた均熱性、熱応答性が特長。さまざまな産業分野で生産性向上に寄与する。設計ニーズから対応できて、大小サイズのヒーターを提供できる。

●高機能蓄熱材

- 蓄熱暖房分野



抜群の蓄熱特性を有するセラミックス材料で蓄熱暖房機や床下暖房機等に適用される。夜間電力利用により電気エネルギーの有効活用に貢献。

●エコ建材

- 舗装・外壁れんが等建材分野



透水、保水等の環境機能を有し、風合いと意匠性を兼ね備えた建材。都市建材リサイクル材を原料に使用する技術をもって循環型都市形成に貢献。



<http://www.krosaki.co.jp/>

本資料は、金融商品取引法上の開示資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

100年の技術を未来へ